

草の根技術協力（地域活性型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	インドネシア共和国
2. 案件名	ジャンビ市水道施設管理能力向上プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	<p>ジャンビ市では水道普及地域の無収水率が 2024 年度時点で全国平均を上回る水準にあり、さらに水道未普及地域も残されている。加えて、水道水の水質についても、微生物学的安全性の確保に不可欠な残留塩素が消失している地域もあるなど、安全に使用できる状況にない。無収水率の主要因である漏水の 8 割は、不適切な施工や粗悪な材料を使用した給水装置に起因している。一方、浄水施設では適切な運転・維持管理が行われておらず、施設や設備の故障等が多発し、給水能力低下の要因となっている。さらに、水質管理も十分には実施できていない状態である。</p> <p>ジャンビ市水道公社が目指す「安全で良質な水道水の安定供給」を実現するためには、給水装置工事、浄水場の運転・維持管理、水質管理に関する職員の知識・技術力を向上が不可欠である。加えて、故障や漏水等の不具合事象が発生してから事後対応を行うという考え方から、発生リスクを低減する予防保全的な対応の重要性を認識し、対応方針を転換していくべく、職員の意識変革が求められている。</p>
4. プロジェクト目標	ジャンビ市におけるモデルエリアの住民への給水能力が向上するとともに、安定した水質の水道水を提供することができる。
5. 対象地域	ジャンビ市内のモデルエリアおよびモデル浄水場
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	<p>1)直接受益者：ジャンビ市水道公社の全技術職員（150 名程度） インドネシア共和国公共事業省人間居住総局職員（2 名）</p> <p>2)間接受益者：給水装置が取り替えられ、漏水が減少し、運転管理や維持管理が改善された浄水場から安全で良質な水道水が安定して給水されるようになるジャンビ市内モデルエリアの住民</p>
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <p>成果 1. モデルエリアにおいて漏水率が低減する。 成果 2. モデル浄水場の給水能力及び水質が向上する。</p> <p><活動></p> <p>活動 1：現状調査・分析、給水装置に関する漏水対策の研修の実施（本邦研修）、給水装置工事関係ガイドラインの改訂、モデルエリアにおける給水装置工事の施工計画策定、給水装置工事に関する研修の実施（現地研修）、モデルエリアにおいてジャンビ市水道公社が実施する給水装置工事の施工状況の確認、課題の検証、事業実施結果の評価</p> <p>活動 2：現状調査・分析、浄水場運転・維持管理・水質管理研修の実施（本邦研修）、モデル浄水場の運転・維持管理、水質管理に関するマニュアルの改訂・策定、モデル浄水場の運転・維持管理、水質管理研修の実施（現地研修）、モデル浄水場においてジャンビ市水道公社が実施する運転・維持管理、水質管理の実施状況の検証、事業実施結果の評価</p>
8. 実施期間	(西暦) 2025 年 12 月～2028 年 11 月 (3 年 0 カ月)
9. 事業費概算額	59,905 千円
10. 相手国側実施機関 (カウンターパート)	ジャンビ市水道公社 (Permudam Tirta Mayang Kota Jambi)
II. 団体の概要	
1. 実施団体/指定団体	大阪市 / (株) 大阪水道総合サービス
2. 主な活動内容	<p>大阪市では、1994 年から現在に至るまで、JICA 課題別研修（浄水・水質コース、給配水コース）において研修員の受け入れを行い、途上国の水道技術者を対象とした人材育成を継続的に支援している。2023 年には自治体国際協力機構（CLAIR）の自治体国際協力促進事業として「ジャンビ市水道事業運営能力向上支援事業（人材育成）」を実施した。</p> <p>(株) 大阪水道総合サービスは 2012 から現在に至るまで JICA 課題別研修（浄水・水質コース、給配水コース）を担当し、途上国の水道技術者に対する実践的な技術指導を行っている。</p>